

「わかりやすい！第1類消防設備士試験」改訂版 お詫びと訂正

本書の掲載内容に下記の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

初版時からの訂正を載せております。お手持ちの本では修正されている可能性もございます。

P81 【問題 18】 1行目

誤	正
10 k Nの物体を水平に～	ある物体を10 k Nの力で 水平に～

P163 **7. 水温上昇防止装置（逃し配管）**

誤	正
締め切り運転をしなくても	締め切り運転を しても

P172 **1. 仕切弁（ゲートバルブ）** 最終行

誤	正
頻繁な開閉操作には向いているバルブ	頻繁な開閉操作には 向いていない バルブ

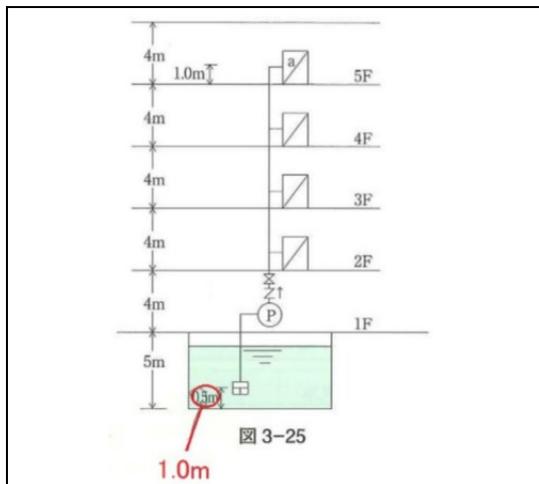
P188 **3. 水源水量** 2～3行目

誤	正
～なら、 $130 \times 20 = 2600 \text{ ℓ} / \text{min} = 2.6 \text{ m}^3$ 、 ～なら、 $60 \times 20 = 1200 \text{ ℓ} / \text{min} = 1.2 \text{ m}^3$ ～	～なら、 $130 \times 20 = 2,600 \text{ L} = 2.6 \text{ m}^3$ 、 ～なら、 $60 \times 20 = 1,200 \text{ L} = 1.2 \text{ m}^3$ ～

P189 下から5行目

誤	正
～+ (5-0.5) = 21.5m となります。	～+ (5-1.0) = 21.0m となります。

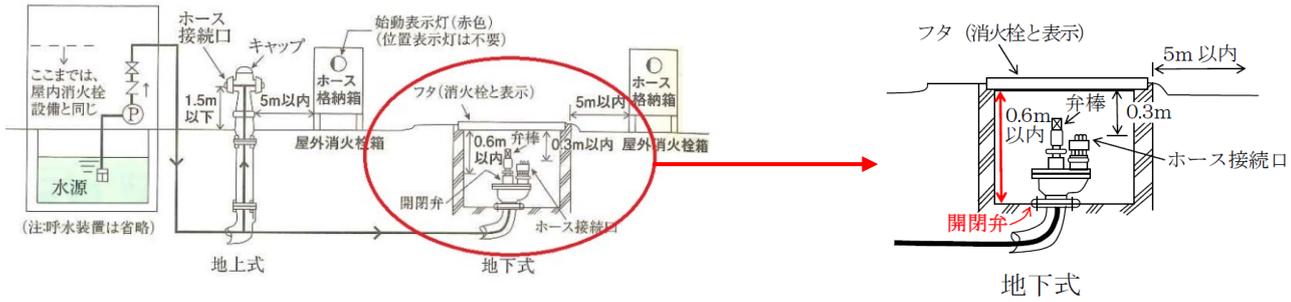
P190 図 3-25 ※次のように訂正します。



p 195 表 試験方法 3行目

誤	正
…電圧反び	…電圧 及 び

p 200 図の色の部分を訂正する。



P230 2.自動式の場合

誤	正
図 3-57 の(b)参照	図 3-56 の(a)参照

P238 【注】

誤	正
【注：次の②と③は閉鎖型に同じです。】	【注：次の④と⑤は閉鎖型に同じです。】

P243 (6) 送水口の①

誤	正
① 送水口は 双口形 とし、スプリンクラー設備専用のものとする事。	① 送水口は 専用とする事 。

P307、3.非常電源の基準1の内容のうち3行分を削除し、以下のように訂正いたします。

消火設備を有効に**30分間以上**作動できる容量が必要。

P328、問題4の解説文2行目後半～3行目を削除し、以下のように訂正いたします。

P307の**基準1**より、非常電源は、原則として消火設備を有効に**30分間以上**作動できる容量が必要です。

P 424、表 6-13 *2の欄を下記のように訂正いたします。

*2:6項イの病院、診療所および6項ロの養護老人ホームなど、自力で避難するのが困難な者が入所する施設等は、次項の「**2倍読み、3倍読みした際の数値**」と「**1,000㎡+「防火上有効な措置が講じられた構造を有する部分（手術室、レントゲン室など）」**のうち、いずれか**小さい数値**の面積となります。

P 430、表 6-17 ③の原則の欄を下記のように一部訂正いたします。

③ 一般的な場合 (注：6項イの一部と6項ロ以外、平屋建の場合は設置義務が生じない)	原則	(延)6000㎡以上 (複合用途防火対象物の場合は、特定用途部分が3000㎡以上の場合、その特定用途がある階すべてに設置義務が生じる。)
	4項(百貨店等)6項イの病院*2のみ	(延)3000㎡以上
	6項ロの特定施設	原則全て

P 442、解説の（3）を下記のように訂正いたします。

（3）6項口の養護老人ホームは一般の防火対象物ですが、2倍読みした1,400㎡と「1,000㎡+防火上有効な措置が講じられた構造を有する部分」のうち、いずれか小さい数値が適用されます（P.424表の下の*2）。
 この場合、養護老人ホームには上記下線部に**該当する部分（手術室等）**はないので1,000㎡となり、結局、こちらが小さい方の数値となり、延べ面積**1,000㎡以上**で設置義務が生じます。従って、延べ面積が1,900㎡では、設置する必要があります。

P 433 6行目

誤	正
・・・平屋建以外で以上・・・	・・・平屋建以外で 3000 m² 以上・・・

P 457、【問題7】一解答（3）の名称

誤	正
径違いストリートエルボ	ストリートエルボ

P 472、【問題23】一解答（2）

誤	正
ヌケ	E : 信号停止弁

P 526、図中 中央右寄りの記号 手動式開放弁

誤	正
	

P 508、510、513 図中消火栓箱の記号

誤	正
